

第64回（令和7年度）赤穂市民文化祭入賞者

（短 歌 の 部）

賞	作 品	氏 名	住 所
市 長 賞	せん し ちち はか きゅう さか く 戦死せし父の墓への 急 な坂来るは さい ご つえ のぼ 最後と杖つき登る	魚本美智子	赤穂市北野中
議 長 賞	ゆう ぐ やま えき きどうしゃ 夕暮れの山あいの駅で気動車のドアが ひら 開けばひぐらしの 声	折原和彦	赤穂市上仮屋北
教育委員会賞	みぎは そら ち さ ぞう みぎは空ひだりは地を指す像のまえ はちじゅうねん しきてん 八十年の式典すすむ	川崎郁子	赤穂市山手町
文化協会賞	むし ね と だ が あつ よ こまど 虫の音の途絶え勝ちなる暑き夜に小窓 い かわかぜすず より入る川風涼し	鶴亀佐知子	赤穂市尾崎
奨 励 賞	しせつ かえ く ひ み けいろう 施設より帰り来る日を見はからい敬老 いわ とど い 祝いを届けに行かむ	小川 恵	赤穂市坂越
奨 励 賞	てんち あつ さむ にきよくか きせつ め 天地の暑さ寒さの二極化に季節を愛で かんせいとか る感性高めむ	箱根直意	赤穂市加里屋南
奨 励 賞	ろうじょ だんしょう わ なんちょう 老女らの談笑しいる輪のなかに難聴 ふか ことく われの深まる孤独	川崎 徹	赤穂市山手町

出 詠 者 数	1 9 人	備 考
出 詠 歌 数	3 8 首	